

大学番号：063

注3

[平成26年度設置]

計画の区分：研究科の専攻の設置

注1

事前伺い

島根大学大学院総合理工学研究科
総合理工学専攻（博士後期課程）

注2

【事前伺い】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 島根大学
平成26年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 総務部総務課

職名・氏名 係長 マツモト 松本 ケイスケ 圭介

電話番号 0852-32-6604

（夜間） 0852-32-6604

F A X 0852-32-6019

e-mail gad-kikaku@office.shimane-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部(平成◇◇年度より変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成26年3月20日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

1	調査対象大学等の概要等	1
2	授業科目の概要	5
3	施設・設備の整備状況, 経費	10
4	既設大学等の状況	11
5	教員組織の状況	13
6	留意事項に対する履行状況等	15
7	その他全般的事項	16

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 島根大学

(2) 大学名

島根大学

(3) 大学の位置

〒690-8504
島根県松江市西川津町1060番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	
理事			
学部長			
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 平成24年度に報告済の内容 → (24)
平成26年度に報告する内容 → (26)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 (入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成24年度開設の博士後期課程の場合(平成26年度までの3年間)ですが, 開設年度・
 修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合
 には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の 名称(学位)	設置時の計画			備 考
	修業年限	入学定員	収容定員	
総合理工学研究科 総合理工学専攻(博士後期課程)	3年	12人	36人	基礎となる学部等 総合理工学部 総合理工学研究科(博士前期課程)
博士(理学) 博士(工学) 博士(学術)				

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区 分	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平均入学定員 超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	12 (-) [-]						0.91倍	
志願者数	12 (3) [2]	() []	() []	() []	() []	() []		
受験者数	12 (3) [2]	() []	() []	() []	() []	() []		
合格者数	12 (3) [2]	() []	() []	() []	() []	() []		
B 入学者数	11 (3) [2]	() []	() []	() []	() []	() []		
入学定員超過率 B/A	0.91							

- (注) ・ 数字は, 平成26年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 設置計画書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出して
 ください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。
 なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

報告年度 学 年	平成26年度		平成27年度		平成28年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[2] 11	[]	[]	[]	[]	[]	
2年次	/		[]	[]	[]	[]	
3年次			[]	[]	[]	[]	
計	[2] 11	[]	[]	[]	[]	[]	

- (注) ・ 数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に対する退学者数の割合(a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数		
平成26年度入学者	11人	0人	平成26年度	0人	0人		0%
			平成27年度	人	人		
			平成28年度	人	人		
平成27年度入学者	人	0人	平成27年度	人	人		#DIV/0!%
			平成28年度	人	人		
平成28年度入学者	人	人	平成28年度	人	人		#DIV/0!%
合計	11人	0人					0%

(注)・数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成26年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<総合理工学研究科 総合理工学専攻（博士後期課程）>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専攻共通科目	高度実践教育科目	英語アカデミックスキルアップセミナーⅠ	1前	2							兼	1	
	英語アカデミックスキルアップセミナーⅡ	1後	2								兼	1	
	社会人実践研究（企業滞在型実践研究）	1前	2		5								
	知的財産と社会連携（研究開発マネジメント科目）	未開講 +前	2								兼	5	履修希望者がいなかったため(26)
	特別実践研究Ⅰ（PBL型授業）	1通	2		5								
	特別実践研究Ⅱ（長期インターンシップ）	未開講 +通	2		5								履修希望者がいなかったため(26)
	教育指導特別実習Ⅰ	2通	2		46	23							
	教育指導特別実習Ⅱ	2通	2		46	23							
	研究指導特別実習	2通	2		46	23							
	国際実践演習	2通	2		46	23							
コース共通	必修科目	論文研究	1通	4		47 46	19 18						授業内容見直しの理由により、教員の配置を変更(26)
	特別セミナー	1通	2		47 46	24 23							授業内容見直しの理由により、教員の配置を変更(26)
理工学際創成コース	高度専門科目	理工学のための生物材料学	未開講 +通	2		2 3	2				兼	9	授業内容見直しの理由により、教員の配置を変更(26) 履修希望者がいなかったため(26)
	機能性物質・食品の医療応用と環境影響	未開講 +通	2		4					兼	9	履修希望者がいなかったため(26)	
	医生物学への数学・情報科学の応用	未開講 +通	2		5					兼	5	履修希望者がいなかったため(26)	
	臨床医学と社会・環境医学への高度情報学の応用	未開講 +通	2		3	1				兼	5	履修希望者がいなかったため(26)	
	医療のための光工学	未開講 +通	2		2					兼	9	履修希望者がいなかったため(26)	
	放射線の医療応用と同位元素の水環境への影響Ⅱ	未開講 +通	2		3					兼	2	履修希望者がいなかったため(26)	
総合理工学専攻	位相解析特論	1後	2		1								
	構造物性学	未開講 +前	2		1								履修希望者がいなかったため(26)
	先端セラミックス材料工学特論	未開講 +前	2		1								履修希望者がいなかったため(26)
	超伝導物性特論	1後	2		1								
	高機能触媒設計工学	1後	2				1						
	光励起物質変換化学	未開講 +前	2		1								履修希望者がいなかったため(26)
	応用結晶成長学特論	1後	2		1								
	合成有機金属化学	1後	2		1								
	錯体化学特論	未開講 +前	2		1								履修希望者がいなかったため(26)
	放射光イメージング特論	未開講 +前	2		1								履修希望者がいなかったため(26)
	結晶材料解析学	未開講 +前	2				1						履修希望者がいなかったため(26)
	有機材料科学特論	未開講 +前	2		1								履修希望者がいなかったため(26)
粉体材料工学特論	未開講 +前	2				1						履修希望者がいなかったため(26)	

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教理・物質創成科学コース 高度専門科目	固体表面・界面物性学	1後		2			1					
	焼結材料学	未開講 +特		2			1					履修希望者がいなかったため(26)
	高機能触媒開発工学	1後		2		1						
	生物無機化学	未開講 +特		2			1					履修希望者がいなかったため(26)
	環境物質循環化学特論	1後		2		1						
	離散数学	未開講 +特		2			1					履修希望者がいなかったため(26)
	凸解析・非線形解析学特論	1前		2		1						
	定性的微分方程式論	1後		2		1						
	セミパラメトリックモデリング論	未開講 +特		2			1					履修希望者がいなかったため(26)
	量子物理学特論	1後 +特		2			1					教育課程編成見直しの理由により開講期別を変更(26)
	発展方程式特論	未開講 +後		2		0 +						教員が退職したため(26)
	電子輸送論	1後		2			1					
	量子理論物性学	未開講 +特		2			1					履修希望者がいなかったため(26)
	有機光電変換薄膜	未開講 +特		2			1					履修希望者がいなかったため(26)
	タイヒミュラー空間論	未開講 +特		2			1					履修希望者がいなかったため(26)
	量子物性学特論	1後		2			1					
	磁性物理学特論	1後		2			1					
	素粒子物理学特論	1後		2			1					教育課程編成充実の理由により、科目を追加(26)
	生物数学特論	1後		2			1					教育課程編成充実の理由により、科目を追加(26)
	非平衡物理学	未開講 +特		2					1			教育課程編成充実の理由により、科目を追加(26) 履修希望者がいなかったため(26)
地球科学・地球環境コース 高度専門科目	金属・非金属資源鉱物科学	未開講 +特		2			1					履修希望者がいなかったため(26)
	変成岩岩石学	未開講 +特		2			1					履修希望者がいなかったため(26)
	火成岩岩石学特論	1前		2			1					
	地球資源共生学	1後		2			1					
	有機資源地球物質科学	1後		2			1					
	材料の人間に対する有用性と快適性	2後		2			1					
	精密機械加工学	2前		2			1					
	海洋資源循環学	未開講 +特		2			1					履修希望者がいなかったため(26)
	地球表層物質循環学	未開講 +特		2			1					履修希望者がいなかったため(26)
	地下流体解析学	1後		2			1					
	高分子表面化学	1後		2			1					
	木質分子工学	未開講 +特		2			1					履修希望者がいなかったため(26)
	生物材料工学	未開講 +特		2			1					履修希望者がいなかったため(26)
生層序学特論	未開講 +特		2			1					履修希望者がいなかったため(26)	

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
総合理工学	地すべりダイナミクス学	1後		2		1							
	堆積岩地球化学特論	未開講 1前 4後		2			1					教育課程編成見直しの理由により開講期別を変更(26) 履修希望者がいなかったため(26)	
	建築構造論	未開講 1前		2		1						履修希望者がいなかったため(26)	
	人間環境デザイン特論	未開講 1前		2		1						教育課程編成充実の理由により、科目を追加(26) 履修希望者がいなかったため(26)	
	木質材料特性評価学特論	1後		2		1						教育課程編成充実の理由により、科目を追加(26)	
	都市計画遺産論	1後		2			1					教育課程編成充実の理由により、科目を追加(26)	
	居住文化特論	1前		2				1				教育課程編成充実の理由により、科目を追加(26)	
学専攻	機械電子情報工学コース 高度専門科目	光信号処理	未開講 1前		2		1						履修希望者がいなかったため(26)
		音環境情報工学	未開講 1前		2		1						履修希望者がいなかったため(26)
		コンピューティングパラダイム特論	未開講 1前		2		1						履修希望者がいなかったため(26)
		応用解析特論	1後		2		1						
		シミュレーション工学特論	未開講 1前		2		1						履修希望者がいなかったため(26)
		アドバンスト機械制御論	未開講 1前		2		1						履修希望者がいなかったため(26)
		メディア構成論	1前		2		1						
		知能移動ロボット論	未開講 1前		2			1					履修希望者がいなかったため(26)
		適応型ユーザインターフェース論	1前		2			1					
		書換えシステム特論	1後		2			1					
		光波計測論	未開講 1前		2		1						履修希望者がいなかったため(26)
		言語処理系最適化特論	未開講 1前		2			1					履修希望者がいなかったため(26)
		パワーエレクトロニクス応用論	1前		2			1					
		光通信論	1後		2		1						
		マルチメディアシステム開発論	1後		2		1						
		計算機設計技法特論	1後		2		1						
		大気計測論	1後		2			1					
		高機能集積デバイスエンジニアリング	1後		2		1						
		光子エレクトロニクス	未開講 1前		2		1						履修希望者がいなかったため(26)
		インタフェース計測特論	未開講 1前		2		1						履修希望者がいなかったため(26)
光起電力デバイス	未開講 1前		2			1					履修希望者がいなかったため(26)		
混晶半導体工学	1後		2		1								
専攻共通科目	高度実践教育科目	Special Practice Research I 特別実践研究 I	1通		2		5						
		Special Practice Research II 特別実践研究 II	未開講 1通		2		5						履修希望者がいなかったため(26)
		Special Practice for Academic mentoring I 教育指導特別実習 I	2通		2		10	7					
		Special Practice for Academic mentoring II 教育指導特別実習 II	2通		2		10	7					
		Special Practice for Technological mentoring 研究指導特別実習	2通		2		10	7					
		Practice for International presentations 国際実践演習	2通		2		10	7					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
必修科目	Thesis Research 論文研究	1通	4			9 10	4					教員が退職したため(26)
	Seminar 特別セミナー	1通	2			9 10	6 7					授業内容見直しの理由により、教員の配置を変更及び教員が退職したため(26)
高度専門科目	先端地球科学専修分野											
	Advanced Igneous Petrology 火成岩石学特論	1前	2				1					履修希望者がいなかったため(26)
	Metamorphic Petrology 変成岩石学	未開講 1前	2				1					履修希望者がいなかったため(26)
	Advanced Mineralogy 鉱物学特論	1後	2				1					
	Advanced Organic Geochemistry 有機地球化学特論	1前	2				1					
	Advanced Sedimentology 堆積学特論	1後	2				1					
	Advanced Geochemistry of Clastic Sediments 堆積岩地球化学特論	1前	2				1					
	Micropaleontology 微古生物学	1後	2				1					
	Advanced Biostratigraphy 生層序学特論	未開講 1前	2				1					履修希望者がいなかったため(26)
	地球資源学専修分野											
	Mineral Science of Metallic and Nonmetallic Resource Minerals 金属・非金属資源鉱物科学	1前	2				1					
	Mineral Science of Organic Natural Resources 有機資源地球物質科学	1後	2				1					
	Groundwater Modeling 地下水モデリング	1後	2				1					
	Utilization Engineering of Forest Resources 森林資源利用工学	1後	2				1					
Utilization and Amenity Estimation of Resources 森林利用・評価学	未開講 1後	2				0 4					教員が退職したため(26)	
Chemical Processing Technology of Cellulose 繊維素加工学	未開講 1前	2				1					履修希望者がいなかったため(26)	
地球環境災害学専修分野												
Civil Water Environmental Science 都市の水環境科学	1後	2				1						
Environmental Changes and Natural Disasters Recorded in Stratigraphic Successions 地層から読む環境変化・自然災害	1後	2				1						
Environmental Chemistry of Material Cycle 環境物質循環化学	1後	2				1						
Landslide Dynamics 地すべりダイナミクス学	1後	2				1						
共通科目												
Effective Manuscript Preparatin A 論文執筆計画A	1前	2				1						
Effective Manuscript Preparatin B 論文執筆計画B	1後	2				1						
Special Lecture in Earth and Geoenvironmental Science I 地球・地球環境科学特論Ⅰ	未開講 1前-後	1								兼	1	履修希望者がいなかったため(26)
Special Lecture in Earth and Geoenvironmental Science II 地球・地球環境科学特論Ⅱ	未開講 1前-後	2								兼	1	履修希望者がいなかったため(26)

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成26年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え直し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え直し修正をしてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 4	科目 113	科目 0	科目 117	科目 [0]	科目 [7]	科目 120	科目 [0]	科目 124

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: Δ1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	発展方程式特論	2	1後	専門	選択	教員が退職したため。代替措置無
2	Utilization and Amenity Estimation of Resources 森林利用・評価学	2	1後	専門	選択	教員が退職したため。代替措置無

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

未開講科目については、教員の退職によるものであり、速やかに教員を採用し開講することとする。
 また、学生に対しては、入学時に配付する資料（授業科目一覧）又は掲示により、周知済みである。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計 (2)}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計 (117)}} = \boxed{0.01}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	(例) 校舎敷地と別地 (徒歩〇分)		
	校 舎 敷 地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	運 動 場 用 地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	小 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
	そ の 他	m ²	m ²	m ²	m ²			
	合 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	〇〇短期大学と共用		
		m ² (m ²)	m ² (m ²)	m ² (m ²)	m ² (m ²)			
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設		
		室	室	室	(補助職員 人)	(補助職員 人)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数	(例) 平成26年4月 専任教授1名を新規 採用のため(26)		
		〇〇学部 〇〇学科			(例) 16 15 室			
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 種	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	
	〇〇学部	[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()	
	計	[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()	
(6) 図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数			
		m ²						
(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				
		m ²						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置時の計画を、設置計画書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成26年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(26)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

4 既設大学等の状況

大学の名称	島根大学						備考		
	既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学員	収容量	学位又は称号		定員超過率	開年度
	年	人	3年次	人			倍		
法文学部			10	20					島根県松江市西川津町1060
法経学科	4	90		360	学士（法経）	1.04	平成16年度		
社会文化学科	4	70		280	学士（社会科学）	1.06	平成16年度		
言語文化学科	4	65		260	学士（文学）	1.06	平成16年度		
教育学部 学校教育課程	4	170		680	学士（教育学）	1.03	平成16年度		島根県松江市西川津町1060
医学部 医学科	6	102	10	603	学士（医学）	1.00	平成15年度		島根県出雲市塩冶町89-1
看護学科	4	60	10	240	学士（看護学）	1.04	平成15年度		
総合理工学部			12	24					
物質科学科	4	130		520		1.05	平成15年度		島根県松江市西川津町1060
地球資源環境学科	4	50		200		1.01	平成15年度		
数理・情報システム学科	4	100		400	学士（総合理工学）	1.03	平成15年度		
機械・電気電子工学科	4	80		240		1.06	平成15年度		
建築・生産設計工学科	4	40		120		1.06	平成15年度		
生物資源科学部 生物科学科			20	40					
生物科学科	4	30		120		1.05	平成15年度		島根県松江市西川津町1060
生命工学科	4	40		160		1.12	平成15年度		
農林生産学科	4	85		255	学士（生物資源科学）	1.06	平成24年度		
地域環境科学科	4	45		135		1.10	平成24年度		
人文社会科学研究科 法経専攻	2	6		12	修士（法学） 修士（経済学） 修士（社会科学） 修士（言語文化）	0.58	平成16年度		島根県松江市西川津町1060
言語・社会文化専攻	2	6		12		0.83	平成16年度		
教育学研究科 教育実践開発専攻	2	20		40	修士（教育学）	0.95	平成20年度		島根県松江市西川津町1060
教育内容開発専攻	2	20		40		0.82	平成20年度		
医学系研究科 医科学専攻	4	30		120	博士（医学）	0.94	平成20年度		島根県出雲市塩冶町89-1
医科学専攻	2	15		30	修士（医科学）	0.99	平成16年度		
看護学専攻	2	12		24	修士（看護学）	0.91	平成15年度		

総合理工学研究科 総合理工学専攻	3	12	12	博士（理学） 博士（工学） 博士（学術）	0.91	平成26 年度	島根県松江市西川 津町1060
総合理工学専攻	2	124	248	修士（総合理工学） 修士（理学） 修士（工学）	1.02	平成24 年度	
生物資源科学研究科 生物生命科学専攻	2	20	40		1.05	平成20 年度	島根県松江市西川 津町1060
農林生産科学専攻	2	22	44	修士（生物資源科学）	0.49	平成20 年度	
環境資源科学専攻	2	18	36		0.94	平成20 年度	
法務研究科 法曹養成専攻	3	20	60	法務博士（専門職）	0.13	平成16 年度	島根県松江市西川 津町1060

（注）・本調査の対象となっている大学等の設置者（国立大学法人）が設置している全ての大学（学部、学科）及び大学院（専攻）（**A**C対象学部等含む）について、それぞれの学校種ごとに、平成26年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。

（ただし、専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。）

- ・「平均定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで（小数点第3位を切り捨て）を、学科単位で記入してください。
- ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「-」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。
- ・大学においては学科単位、大学院においては専攻単位で記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1			
2			
3			

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および（）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

- (注) ・ 上記（3）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (〇〇年〇〇月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年△△月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年□□月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年●●月)			

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

7 その他全般的事項

<総合理工学研究科 総合理工学専攻（博士後期課程）>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
/	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>b 実施方法</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期</p> <p>b 教員や学生への公開状況, 方法等</p>	
--	--

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
- ・ 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
② 自己点検・評価報告書
a 公表（予定）時期
b 公表方法
③ 認証評価を受ける計画

- (注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書	
a ホームページに公表の有無	(<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無)
b 公表時期（未公表の場合は予定時期）	(平成26年5月16日)